



ロシアのウクライナ侵略に 日本共産党が抗議の宣伝



武力攻撃中止を訴える（左から）
川長・丸山慎一・金沢理恵の各氏。
3月1日・津田沼駅北口

ロシアによるウクライナ侵略にたいして、世界中で抗議と武力攻撃即時中止を求める声が広がっています。日本共産党千葉西部地区委員会も3月1日、津田沼駅北口で「一緒に声を上げ、ロシアの暴挙をやめさせましょう」と呼びかけました。

そもそも、どんな理由があろうとも、一方的に外国にたいして武力攻撃を行い、住民の命を奪うことなど絶対にあってはなりません。

また、安倍元首相などが「アメリカとの『核の共有』の必要性を唱え、敵基地攻撃能力に言及するなど、ウクライナ侵略を口実に憲法9条を無くして戦争する国づくりを進めようとしていることは重大です。この日の宣伝ではこうしたことを厳しく批判しました。



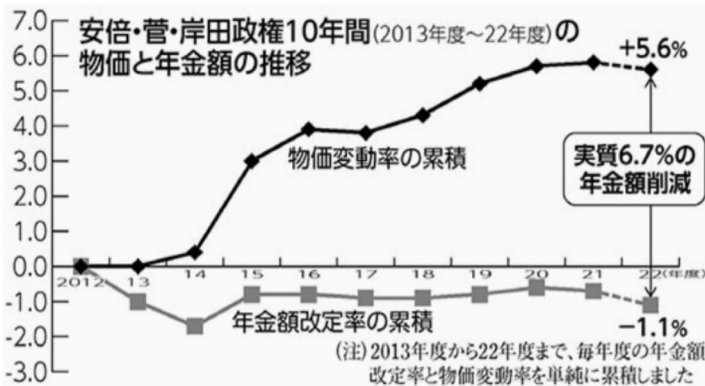
ホームドアが設置されたJR総武線・下総中山駅。

〔船橋市内のホームドア設置状況〕

設置駅（予定含む）	設置年
東武船橋駅	2014年3月22日
JR西船橋駅	2021年6月12日
JR下総中山駅	2021年12月20日
東京メトロ西船橋駅	2024年度予定
東京メトロ原木中山駅	2025年度予定

※船橋市や鉄道各社からの聞き取りなどによる

- 2・1▼タワの津田沼駅で宣伝に参加
- 2・2▼平和民主革新をめぐり船橋の会世話人会/基地対策委員会
- 2・3▼生活と健康を守る会世話人会
- 2・4▼三山地域つどい/党西部地区委員会総会に出席
- 2・5▼憲法学習会
- 2・6▼輝け船橋の子どもたち参加
- 2・7▼地区常任委/船橋後援会役員会
- 2・8▼タワの北習志野駅で宣伝
- 2・9▼若松地域訪問/三山地域で道路調査
- 2・10▼平和行進実行委員会/国保良くする会ミーティング
- 2・11▼バス路線で習志野支部会に参加
- 2・12▼地区党会議
- 2・13▼北総鉄道のトンネル振動対策で懇談
- 2・14▼地区常任委
- 2・15▼自然保護団体と懇談
- 2・16▼原水爆禁止船橋市協議会学習会参加
- 2・17▼大穴南訪問
- 2・18▼防衛省からオスプレイで聞き取り
- 2・19▼参院選のとりくみで会議
- 2・20▼西船地域気候危機交流会/歴史教育者協議会の学習会参加
- 2・21▼地区常任委
- 2・22▼職場関係会議
- 2・23▼二和地域訪問
- 2・24▼二和地域訪問
- 2・25▼飯山満訪問
- 2・26▼飯山満撮影
- 2・27▼高根台訪問
- 2・28▼海神地域訪問
- 2・29▼若松地域訪問



安倍・菅・岸田政権10年間(2013年度～22年度)の
物価と年金額の推移

物価変動率の累積 +5.6%

年金額改定率の累積 -1.1%

(注) 2013年度から22年度まで、毎年度の年金額改定率と物価変動率を単純に累積しました

物価も賃金も下がったというが

電気やガス、マヨネーズ、即席カップ麺など、相次ぐ値上げで家計は苦しくなるばかりです。ところが政府は4月から年金額を0・4%減らそうとしています。

引き下げの指標としている昨年の物価は0・2%減で、賃金は0・4%減でした(2018～20年度平均)。物価も賃金もマイナスで、賃金

生活実感とはかけ離れている

今回、賃金下がった原因は、新型コロナの影響です。物価の0・2%減も、スマホの料金値下げの影響で、それ以外は0・7%もアップして

の減り幅が物価より大きいときは、賃金に合わせて年金額を減らすことになっているため、4月から年金を減らそうというものです。

この仕組み(賃金マイナススライド)自体は、2016年に自民・公明・維新が法案を強行したもので、去年4月から導入されました。

市民の声と運動を力に 進む駅のバリアフリー化

昨年12月、JR下総中山駅にホームドアが設置されました。これで船橋市内の設置駅は3駅となりました。鉄道会社や行政に設置を働きかけてきた市民の取り組みの結果です。しかしまだ多くの駅が未設置となっています。

駅ホームからの転落事故は昨、毎年、全国で3

000件程度発生しており、そのうち視覚障害者の事故は100件近くになっています。また死亡事故はこの5年間で12件も起きており、安全対策は待ったなしとなっています。

おり、生活実態を反映していません。

これまで、安倍・菅・岸田政権の10年間で、物価は5・6%上がったのに、逆に年金は1・1%のマイナス(上

のグラフ)。差し引き6・7%も実質目減りで、ものを買う力が失われています。4月からの年金削減は中止させ、「減らない年金」への転換が必要で、そのためには現役世代の給料を引き上げ、年金保険料の収入を増やすことです。「賃金の引き上げ」こそ、年金を安定させる道です。